

# 株式会社帝国ホテルの事業適応計画のポイント

- ・訪日外国人の増加を目指す国の中長期的な観光政策、またコロナ収束後の宿泊需要回復を見据え、国際的な観光都市である京都で、高品質なホテル経営に取り組むことにより、ホテルブランドの向上と収益の拡大を目指す。
- ・帝国ホテルブランドとしては、東京、上高地、大阪に次いで4軒目となるホテルを京都に新規出店する。国の登録有形文化財ならびに京都市の歴史的風致形成建造物に指定される「弥栄会館」の一部を保存活用して、客室約60室、レストラン、バー、ウェルネス施設を備えたスモールラグジュアリーホテルを建設し、2026年春(予定)に開業する。

## <事業適応計画の概要>

### 1. 事業適応計画の実施時期

2022年(令和4年)4月～2027年(令和9年)3月

### 2. 生産性向上目標・新需要開拓目標

計画終了年度(2027年3月期)のROAが、基準年度(2021年3月期)のROAを5%ポイント以上上回ることを目標とする。

### 3. 前向きな取組の内容

計画終了年度において、新商品の売上高の合計額が全体の売上高の1%以上になることを目指す。

### 4. 支援措置

税制措置(繰越欠損金の控除上限額の特例)

## <取組の内容のイメージ>



京都において  
新規ホテル開業

